

「青の世界」「赤の世界」へようこそ！

— 「 A 表現（1）」 —

～材料や場所の特徴を考えながら、思い付いた活動を工夫しよう～

広島市立東野小学校 上野 由美子

河村 知幸

1 日時・場所 平成24年 11月 22日(木) 3階ルーフバルコニー

2 学年・組 第5学年3組（男子16名 女子15名 計31名）

第5学年4組（男子16名 女子13名 計29名）

3 題材について

- 本学級の児童は、様々な材料を使って造形活動することを楽しみにしており、意欲的に活動できる。しかし、自分の表現に対して自信をもつことができる児童とそうでない児童の個人差が見られる。また、指示されたことはできるが、自分で考えて自主的に活動することは難しい。発想や構想についても個人差があり、イメージができるまでにとっても時間がかかってしまう児童や、何度も教師に確認をする児童が見られる。創造的な技能については、これまで経験してきた表現方法や材料・用具の扱いを試しながら自分の造形活動に生かしていくことができる児童が多い。高学年になり、手などの力強さや巧みさも増してきた。これらを生かして、初めての経験する表し方に取り組んだり、幾つかの表し方を組み合わせたりすることなどが考えられる。鑑賞に関しては、日頃からお互いの作品を見合い、よいところや工夫しているところを伝え合うことができる。
- 本題材は、風や光を感じることでできるPPテープやビニールシートの材料を使って、ルーフバルコニーを2色（青・赤）の世界に変化させる中で、いろいろな表現を試したり見つけたりしながら工夫して活動することを楽しむ造形遊びである。青と赤の色がヒントとなり、活動のイメージをもちやすいと考えた。ルーフバルコニーは、屋上にあるので風通しや日当たりもよい。そこで、風や光を感じることでできるビニル素材の材料を使って変化させる造形遊びの場とした。通路を挟んで庭園と園芸スペースに分かれていることを利用して「青の世界」「赤の世界」に分けることで、材料や場所の特徴を生かしながら広々とした空間の中で自由に発想を広げることができると考えた。いつも目にすることができ、身近で親しみのある場所をいつもと違うわくわくする場所に変化させることは、活動への意欲の高まりにもつながると期待できる。さらに、友だちと一緒にいろいろな表現を試したり見つけたりしながら、児童一人一人が自信をもって思い付いた活動を工夫することができると考え、本題材を設定した。
- 指導に当たっては、まず、ルーフバルコニーを2色（青・赤）の世界に変えることや使う材料について知らせ、児童が自分のつくりたい色の世界を選択し、活動のイメージをもち意欲が高まるようにする。自分の表現方法に自信をもつことができない児童に対しては、思いを聞き、どのように表現するか一緒に考え、活動への意欲を高める。材料を豊富に準備しておき、材料の特徴から発想や構想の広がりも促したい。創造的な技能については、これまで経験してきた表現方法や材料・用具の扱いを試しながら自分の造形活動に生かしていくことができるよう声かけをしていく。鑑賞については、友だちの活動のよさや面白さを見つけて自分の活動にも生かせるように、途中で別の色の世界を鑑賞する時間を設ける。

4 題材の目標

- 風や光を感じることでできるビニル素材や場所の特徴を基に活動を思い付いて、ルーフバルコニーの様子を変化させる活動をする。

5 題材の評価規準

	ア造形への関心・意欲・態度	イ発想や構想の能力	ウ創造的な技能	エ鑑賞の能力
題材の評価規準	テープやシートなどの材料を用いてルーフバルコニーの様子を変化させる活動に自分の思いをもって取り組もうとしている。	テープやシートなどの材料や場所の特徴をもとに活動を思い付いて、ルーフバルコニーの様子を変化させることを考えている。	テープやシートを結んだり、つないだり、組み合わせたりしながら、ルーフバルコニーの様子を変化させる方法を工夫している。	ルーフバルコニーの変化の様子を楽しみ、友だちの表現のよさや面白さなどを感じ取っている。

6 指導と評価の計画 (全3 時間)

時間	学習活動	学習活動における具体的評価規準等		
		評価規準 評価方法	十分満足できると 判断される状況	努力を要する 状況への手立て
第一次 (3 時間) (本時 1 / 3)	材料や場所の特徴をもとに発想し、いろいろな活動を試したり見つけたりしながら造形活動をする。	ア 観察 イ 観察・写真 ウ 観察・写真	<ul style="list-style-type: none"> ・テープやシートなどの材料を用いてルーフバルコニーの様子を変化させる活動に自分の思いをもって意欲的に取り組んでいる。 ・豊かな発想・構想を用いてテープやシートなどの材料や場所の特徴を生かした活動を思い付いたり、ルーフバルコニーの様子を考え合わせたりしている。 ・テープやシートを結んだり、つないだり、組み合わせたりしながら、自分の思いに合わせて効果的な方法を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発想が広がりにくい児童に対しては、材料に触れ合う時間を保障し、一緒に活動を考える。 ・活動途中での迷いや、自信のなさがみられる児童に対しては、まず思いを聞き、どのように表現するか一緒に考え、活動への意欲を高める。

7 本時の目標

風や光を感じることができるビニル素材の材料や場所の特徴をもとに活動を思い付いて、ルーフバルコニーの様子を変化させる活動をする。

8 準備物

(指導者) PPテープ, ビニルシート, ビニル袋, 風船, セロテープ, カラーコーン, 脚立, テントの骨組み
(児童) はさみ セロテープ

9 本時の展開

学習活動	○教師の支援 ★努力を要する児童への支援	評価規準・評価方法
1 題材と出会う。	○風や光を感じることができるビニル素材の材料や、場所の特徴をもとにルーフバルコニーを2色の世界に変身させることを伝える。	
2 本時の学習内容をつかむ。		
めあて 材料や場所の特徴をもとに、ルーフバルコニーを「青の世界」「赤の世界」に変身させて楽しもう！		
3 自分のつくりたい色の世界に分かれて活動する。 ・材料や場所の特徴をもとに活動を思い付いて、ルーフバルコニーの様子を変化させる。	○色の選択は、児童の希望を優先する。 ○思いのままづくり、どんどん活動を変化させてもよいことを伝える。 ★発想が広がりにくい児童に対しては、材料に触れ合う時間を保障し、一緒に活動を考える。 ★活動途中での迷いや、自信のなさがみられる児童に対しては、まず思いを聞き、どのように活動するか一緒に考え、活動への意欲を高める。 ○友だちの表現のよさや面白さを見つけて自分たちの表現にも生かせるように、途中で別の色の世界を探検する時間を設ける。	ア ・観察 イ ・観察 ・活動記録(写真)
4 本時の学習をふりかえる。	○感想を聞くことで、次時への意欲をもたせる。	